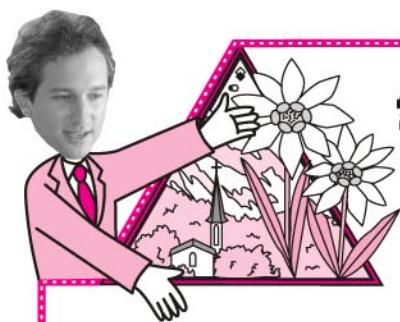




## クリストフ・ソーターの「ビヤーンヴェニコ・アン・スイス」

### バレンタインデー

皆さん、こんにちは。

寒い冬の楽しみの一つに2月14日のバレンタインデーがあります。この日は世界中の人々が恋人と一緒にとても楽しい時間を過ごします。そこで今回は世界のバレンタインデーについて話したいと思います。

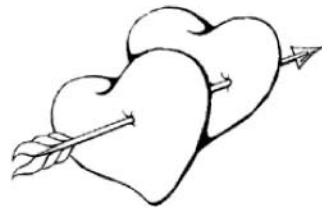
バレンタインデーは愛情を表現する日ですが、バレンタインデーの過ごし方は国によって違います。“バレンタインデー”はヨーロッパで昔からある習慣なのですが、人気があって最近では世界中でこの行事が行われています。

日本では2月14日が近づくと、チョコレートは至る所で売られています。女性は恋人だけでなく、職場などの同僚や男性の友達にもチョコレートを贈る習慣があるので、“バレンタインデー”のプレゼントはよく“義理チョコ”と呼ばれています。やはりたくさんチョコレートを貰った男の人は人気があるのでしょうね。“バレンタインデー”のお返しに、日本人の男性は1ヶ月後の3月14日に恋人にプレゼントを贈る習慣もありますが、なかなかこの“ホワイトデー”と呼ばれる行事は“バレンタインデー”に比べたら人気があまりないようです。



日本文化に影響された韓国では同じような習慣があります。向こうでも女性は男性にチョコレートをプレゼントし、“ホワイトデー”の習慣もあります。しかし、恋人が居ない人とプレゼントを貰わなかった韓国人の若者は“バレンタインデー”と“ホワイトデー”の変わりに4月14日に友達と一緒に集まって“ブラックデー”と言う1日を過ごして楽しみます。この日には黒い韓国ヌードル（ジャジャン麺）を食べるので“ブラックデー”と呼ばれているそうです。

最近では中国やインドやアジアの国々などでも日本と似ている“バレンタインデー”の習慣が出てきました。しかし、“バレンタインデー”と言っても、ヨーロッパとの違いがたくさんあると思います。フランスで生まれた“バレンタインデー”の習慣はヨーロッパ人にとってとてもロマンチックなものです。2月14日は皆が恋人と一緒にレストランに行ったり、家でごちそうをしたり、時には一泊の旅をしたりすることもあります。普通、男性は女性に夕食をごちそうし、プレゼントを交換する習慣があります。ですから、ヨーロッパで“ホワイトデー”の習慣はありません。残念ながら、恋人が居ない人のための“ブラックデー”みたいな行事もありません。しかし、“バレンタインデー”は愛情を表現する日なので、家族とか友人などによく花束やチョコレートをプレゼントします。これはヨーロッパの“バレンタインデー”の習慣です。



最後に、“バレンタインデー”でよく使われる“愛している”という言葉はフランス語で“ジュ・テーム / JE T' AIME”と言います。フランス語のとてもロマンチックな言葉なので、大切に使って下さい。

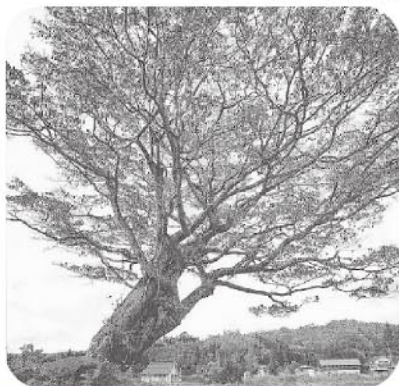
では、また来月よろしくお願いします。

## かがみのの名木

ここでは町内にある、名木を紹介していきます。

### 『赤和瀬のヤマボウシ』

【ヤマボウシ(ミズキ科)】



国道179号線を北上し、人形トンネルの手前から約3km入った赤和瀬地区にあります。地元では神聖な木として「<sup>いつき</sup>齋」と言われており、自生しているものでもこのような大木は大変珍しく、毎年5月には白い花を咲かせ、周囲の水田の緑に映え清楚な景観を保っています。

所在地／上齋原1654

推定樹齢／350年

目通り周囲／2.3m 樹高／6m